

TEAC

第68期 中間報告書

2015年4月1日～2015年9月30日



ティアック株式会社

証券コード：6803



株主の皆様には日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社は2015年9月30日をもちまして、第68期(2015年4月1日から2016年3月31日まで)の中間期を終了いたしましたので、ここに当社グループの事業の概況につきましてご報告申し上げます。

代表取締役社長

英 裕治

Hanabusa Yuji

当中間期の概況

当中間期のわが国経済は、一部に景気の弱さも見られますが、企業収益や雇用環境の改善などを背景に緩やかな回復基調が続いています。一方、世界経済は、全体的には緩やかに回復しているものの、米国の金融政策正常化に向けた動きの影響や、中国やその他アジア新興国経済の減速など、先行き不透明な状況であります。

このような状況の中で当社グループは、音響機器事業のうち、一般AV機器事業では、ギブソングループのマルチブランド戦略の中で新たな変革を目指し、従来製品カテゴリーの見直し、海外販

売体制の再構築、マーケティングの強化を進めております。

また、音楽制作オーディオ機器事業では、当社中国生産子会社の体制を見直し、コスト削減及び原価低減を目指しております。さらに、情報機器事業では、2015年9月末に当社のストレージデバイス事業の子会社である台湾ティアック有限公司の事業を株式会社アルメディオに譲渡し、事業の選択と集中をさらに進め、当社のコア技術に基づいた事業カテゴリーに経営資源を集中し成長を目指しております。

通期の業績見通しについて

当中間期におきましては、前年同期の消費増税の影響からの回復もあり、売上は全体として前年同期を上回り、音響機器事業、情報機器事業とも増収となりました。また、営業損失につきましては、前年同期と比較して改善いたしました。

この結果、当社グループの当中間期の売上収益は97億4百万円（前年同期比7.0%増）、営業損失は4億9千6百万円（前年同期営業損失7億9千7百万円）、親会社の所有者に帰属する四半期損失は6億5千万円（前年同期親会社の所有者に帰属する四半期損失10億6千3百万円）となりました。

当中間期及び前年同期とも営業損失を計上しておりますが、当社グループの業績の特性は、季節要因により、売上、利益とも第4四半期に集中する傾向があります。

なお、2016年3月期の連結売上収益は215億円、営業利益3億円、親会社の所有者に帰属する当期利益は5千万円を予想しております。

全グループ社員一丸となって通期の業績見通しの達成に向け邁進してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2015年12月

国際会計基準(IFRS)への移行について

当社グループは、当期より従来の日本基準に替えて国際会計基準(IFRS)を適用しており、前期実績につきましては、IFRSに準拠して表示しております。

連結業績ハイライト

		第67期 2015年3月期	第67期(中間) 2014年9月期	第68期(当中間) 2015年9月期
売上収益	(百万円)	20,434	9,073	9,704
営業利益	(百万円)	△1,403	△797	△496
当期利益	(百万円)	△1,865	△1,069	△652
親会社の所有者に 帰属する当期利益	(百万円)	△1,870	△1,063	△650
基本的1株当たり 当期利益	(円)	△6.47	△3.69	△2.26
資産合計	(百万円)	14,648	14,950	14,198
資本合計	(百万円)	2,043	2,327	1,303

音響機器事業 61.3%

売上収益 5,949 百万円
(前年同期比 12.4%増)

営業利益 5 百万円
(前年同期営業損失 △ 293 百万円)

ターンテーブル/カセットプレーヤー付
CD レコーダー



高級AV機器（ESOTERICブランド）は、当期に入って投入したSACDプレーヤーやアンブカテゴリーの新製品が順調に推移、また、欧米向けの輸出が前年に比して大きく伸長し、前年同期と比較して増収増益となりました。

一般AV機器（TEACブランド）も同様にターンテーブル製品において国内大手流通向けの大型受注や海外輸出が大きく成長しました。また、国内OEMも前年に比して大きく伸長した結果、前年同期と比較して増収、営業損失は縮小しました。

音楽制作オーディオ機器（TASCAMブランド）は、楽器市場向けにおいては、マルチトラックレコーダー（DIGITAL PORTASTUDIO）及びリニアPCMレコーダーは、円安による価格改定を行ったために、一時的に国内での販売が減少しましたが、その他地域の好調を受け前年同期を上回る販売となりました。また、オーディオインターフェイスの販売は、効率化のための商品数削減により、国内と欧州での販売が減少しましたが、全体では前年同期を上回りました。設備市場においては、国内での需要が安定しており、ソリッドステートレコーダー、CDプレーヤーの販売が好調に推移し、放送局向け機器は国内放送局からの受注を獲得した結果、全体では前年同期を上回りました。また、デジタル一眼レフカメラ用リニアPCMレコーダーの販売は全地域で増加しました。

この結果、音響機器事業全体では、前年同期と比較して増収、営業利益を計上しました。

- 高級 AV 機器
- 一般 AV 機器
- 音楽制作オーディオ機器

オリジナルブランド

ESOTERIC

TEAC

TASCAM

売上収益
9,704

情報機器事業

34.7%



機内エンターテインメント用ビデオプレーヤー

売上収益 3,365 百万円

(前年同期比 8.1%増)

営業利益 219 百万円

(前年同期比 8.8%減)

- 航空機搭載用記録再生機器
- 医用画像記録機器
- 計測機器
トランスデューサー
データレコーダー
- ソリューションビジネス
- 介護支援個別ケアシステム
- 産業用光ドライブ

オリジナルブランド

TEAC

航空機搭載記録再生機器は保守パーツ関連の需要減少により低調に推移しましたが、機内エンターテインメント用ビデオプレーヤーの新製品(VE-801SDi)が国内大手航空会社で採用になるなど好調な一面も見せ始めています。

計測機器はデータレコーダー(WX-7000)の販売が堅調に推移、特に海外販売は前年を上回る結果となりました。また、センサーは好調な電子部品メーカーの設備投資に伴い高額製品の出荷が増加し、好調に推移しました。

医用画像記録機器は、国内での消化器内視鏡向け記録機器の販売が伸びずに低調に推移しましたが、新製品の手術画像用レコーダーが堅調に推移しました。

ソリューションビジネスはIBM・AS/400向け開発案件の受注が伸び、好調に推移しました。

その他の情報機器関連事業も堅調に推移したことにより、情報機器事業全体では、前年同期と比較して増収減益となりました。

その他事業

4.0%

売上収益 391 百万円

(前年同期比 41.6%減)

営業損失 △ 29 百万円

(前年同期営業利益 23 百万円)

● EMS 事業

百万円

前年同期比
7.0%増

要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	当中間期 2015年9月30日現在	前期 2015年3月31日現在
■ 資産		
流動資産	11,463	11,666
現金及び現金同等物	2,079	2,826
営業債権及びその他の債権	4,155	4,576
棚卸資産	4,858	3,927
その他の流動資産	371	338
非流動資産	2,735	2,983
有形固定資産	1,748	1,848
無形資産	609	608
持分法で会計処理されている投資	—	43
その他の投資	143	190
繰延税金資産	19	41
その他の金融資産	164	179
その他の非流動資産	51	74
資産合計	14,198	14,648

	当中間期 2015年9月30日現在	前期 2015年3月31日現在
■ 負債		
流動負債	6,544	6,016
借入金等	2,359	2,320
営業債務及びその他の債務	2,409	1,877
引当金	756	696
その他の流動負債	1,020	1,124
非流動負債	6,350	6,590
借入金等	261	311
退職給付に係る負債	5,068	5,266
引当金	919	954
繰延税金負債	15	31
その他の非流動負債	87	28
負債合計	12,895	12,606
■ 資本		
親会社の所有者に帰属する持分	1,265	2,002
資本金	6,000	6,000
資本剰余金	74	74
自己株式	△ 119	△ 118
利益剰余金	△ 1,915	△ 1,265
利益剰余金 (IFRS移行時の累積換算差額)	△ 3,430	△ 3,430
その他の資本の構成要素	656	742
非支配持分	38	40
資本合計	1,303	2,043
負債及び資本合計	14,198	14,648

Point 1 四半期連結財政状態計算書

＜資産合計＞ 第3四半期以降の需要に備えた棚卸資産の増加、現金及び現金同等物、営業債権及びその他の債権が減少したことなどにより、前期末に比べ450百万円減少しました。

＜資本合計＞ 四半期損失の計上による利益剰余金の減少などにより、前期末に比べ739百万円減少しました。

Point 2 四半期連結損益計算書

＜営業利益、親会社の所有者に帰属する四半期利益＞

当中間期はターンテーブル製品の売上が好調であったことなどにより音響機器事業の収益が大幅に改善し、営業損失、親会社の所有者に帰属する四半期損失は前中間期に比べて改善しました。

Point 3 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

＜営業活動によるキャッシュ・フロー＞

主な内訳は、プラス要因として営業債権及びその他の債権の減少額472百万円、営業債務及びその他の債務の増加額569百万円、マイナス要因としては四半期損失652百万円、棚卸資産の増加額928百万円であります。

要約四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	当中間期	前中間期
	2015年4月1日～ 2015年9月30日	2014年4月1日～ 2014年9月30日
売上収益	9,704	9,073
売上原価	△ 6,175	△ 5,638
売上総利益	3,529	3,435
販売費及び一般管理費	△ 3,971	△ 4,147
その他の損益	32	△ 25
個別開示項目前営業損失 (△)	△ 410	△ 737
個別開示項目	△ 86	△ 60
営業損失 (△)	△ 496	△ 797
金融収益	7	16
金融費用	△ 144	△ 272
持分法による投資利益 (△損失)	14	△ 11
税引前四半期損失 (△)	△ 619	△ 1,064
法人所得税費用	△ 33	△ 5
四半期損失 (△)	△ 652	△ 1,069
四半期利益の帰属先		
親会社の所有者	△ 650	△ 1,063
非支配持分	△ 2	△ 6

要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当中間期	前中間期
	2015年4月1日～ 2015年9月30日	2014年4月1日～ 2014年9月30日
営業活動による キャッシュ・フロー	△ 742	736
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 16	464
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 65	△ 1,142
現金及び現金同等物に 係る換算差額	76	173
現金及び現金同等物の 増減額 (△は減少)	△ 747	231
現金及び現金同等物 期首残高	2,826	3,176
現金及び現金同等物 四半期末残高	2,079	3,407

要約四半期連結持分変動計算書 (2015年4月1日～2015年9月30日)

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分							非支配 持分	資本 合計
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	利益剰余金 (IFRS移行時の 累積換算差額)	その他の 資本の 構成要素	合計		
当期首残高	6,000	74	△ 118	△ 1,265	△ 3,430	742	2,002	40	2,043
四半期包括利益									
四半期損失 (△)				△ 650			△ 650	△ 2	△ 652
その他の包括利益						△ 86	△ 86		△ 86
四半期包括利益合計	—	—	—	△ 650	—	△ 86	△ 736	△ 2	△ 739
自己株式の取得			△ 0				△ 0		△ 0
当四半期末残高	6,000	74	△ 119	△ 1,915	△ 3,430	656	1,265	38	1,303



製品特別大賞
GRAND SPECIAL PRIZE

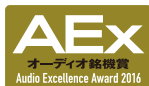
オーディオ銘機賞 2016(AEX2016)にて、 『Grandioso S1』『C-02X』『S-02』が 製品特別大賞を受賞

2015年3月に発売した『Grandioso S1』『C-02X』『S-02』は、国内では最も権威あるオーディオ賞のひとつである、音元出版主催の「オーディオ銘機賞 2016(AEX2016)」にて、「製品特別大賞」を受賞しました。ESOTERICはこの3機種を含め、当期に発売した7機種の新製品すべてが、上位賞にランクインする結果となりました。

ESOTERIC



プリアンプ「Grandioso C1」の組み合わせイメージ



『UD-503』が、DA コンバーター部門に入賞

2015年6月発売の『UD-503』は、A4サイズながらも、DSD11.2MHzのハイレゾ音源再生を楽しめるUSB DAC/ヘッドホンアンプです。オーディオの要ともいえるアナログ出力回路には、『TEAC HCLD(=High Current Line Driver)』を初搭載。さらに、DACチップには高級オーディオ機器への採用で定評のある旭化成エレクトロニクス社製のDAC『VERITA AK4490』を採用。これらが評価され、「DA コンバーター部門」に入賞しました。

TEAC



フルバランス・ヘッドホンアンプ搭載 デュアルモノーラル D/A コンバーター 「UD-503」

1台で3役をこなす USB3.0 対応の万能オーディオインターフェース

TASCAM



オーディオインターフェース
『Celesonic US-20x20』

2015年9月発売のフラッグシップモデル『Celesonic US-20x20』は、パソコンでの多チャンネル録音以外にも様々な用途でご活用いただける USB オーディオインターフェースです。

1U サイズに合計20入力20出力のアナログとデジタル両方の端子を装備し、サンプリング周波数192kHzまで対応。さらに Windows10 の環境において USB3.0 のスピードでデータ転送が可能となり、音の遅延が最小限に抑えられるため快適な録音を実現します。

また、モード切り替えスイッチにより、インターフェース、デジタルミキサー、マイクプリアンプの3モードを簡単に切り替えることができ、多くのマイクを必要とするバンドのレコーディングシーンのほか、簡易コンサートミキサーにも対応します。発売以来、PC ベースで活躍するミュージシャンやレコーディングエンジニアから好評をいただいております。

高安定性、高信頼性の録音と再生を実現した 64 チャンネル MTR

TASCAM

『DA-6400』は1Uサイズというコンパクトなサイズでありながら、単体で64チャンネルの録音と再生が可能な最新のデジタルマルチトラックレコーダーです。信頼性の高い組み込み用OSの搭載や様々なインターフェースに対応、記録メディアにSSDを採用するなど、業務用として必要とされる音質、安定性、信頼性をタスカムが誇る高い技術力で実現しました。

録音スタジオでのレコーディングのみならず、アミューズメントパークなどでのマルチトラック再生用途にも対応でき、様々なシステムに合った使い易さを提供します。

今後はオプションカードや周辺機器を拡充させ、『DA-6400シリーズ』はトータルレコーディングソリューションを提供するシステムとして進化させていきます。



デジタルマルチトラックレコーダー / プレーヤー 『DA-6400』

■ 会社の概要

商号 ティアック株式会社 (TEAC CORPORATION)
 本社 〒206-8530 東京都多摩市落合一丁目 47 番地
 設立 1953年8月26日
 資本金 60億円
 事業年度 4月1日～翌年3月31日
 代表者 代表取締役社長 英 裕治
 従業員数 単体 299名 連結 1,046名

国内拠点

ティアック株式会社

本社 [東京都]

EMC センター [埼玉県]

大阪営業所 [大阪府]

名古屋営業所 [愛知県]

エソテリック株式会社 [東京都]

ティアック マニュファクチャリング ソリューションズ株式会社 [東京都]

ティアック カスタマーソリューションズ株式会社 [埼玉県] (2015年11月現在)

ティアックオンキヨーソリューションズ株式会社 [東京都]

海外拠点

TEAC AMERICA, INC. [米国]

TEAC MEXICO, S.A. de C.V. [メキシコ]

TEAC EUROPE GmbH [ドイツ]

TEAC UK LTD. [英国]

TAIWAN TEAC CORPORATION [台湾]

TEAC SALES & TRADING (ShenZhen) CO., LTD. [中国]

TEAC AUDIO (CHINA) CO., LTD. [香港]

DONGGUAN TEAC ELECTRONICS CO., LTD. [中国]

■ 役員

代表取締役社長 英 裕治
 取締役 野村 佳秀
 取締役 Henry E. Juskiewicz
 取締役 David Berryman
 取締役 Solomon Picciotto
 常勤監査役 牧野 信明
 監査役 原 琢己
 監査役 坂口 洋二

当社ホームページのご案内

当社は、ニュースリリースや決算発表資料などを、自社ホームページに掲載しています。

➡ 投資家向け情報



<http://www.teac.co.jp/>

株式の状況

発行可能株式総数	400,000,000株
発行済株式の総数	289,317,134株
株主数	14,578名

大株主 (上位10名)

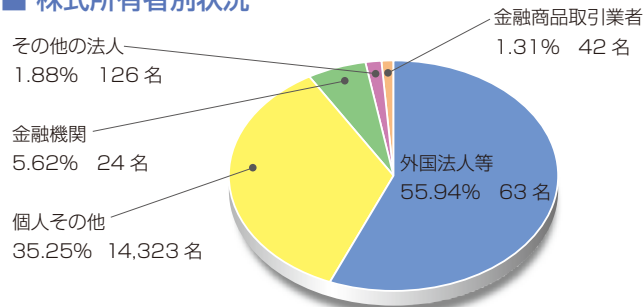
株主名	持株数 (千株)	出資比率 (%)
Gibson Holdings, Inc.	157,447	54.42
株式会社三菱東京UFJ銀行	3,433	1.19
オンキヨー株式会社	2,894	1.00
東京海上日動火災保険株式会社	2,007	0.69
BNY GCM CLIENT ACCOUNTS(M)LSCB	1,896	0.66
ティアック取引先持株会	1,646	0.57
明治安田生命保険相互会社	1,541	0.53
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	1,342	0.46
株式会社相川プレス工業	1,240	0.43
日本トラスティサービス信託銀行株式会社(信託口6)	1,106	0.38

(注) 1 上記のほか、当社は自己株式 1,156 千株を保有しております。
2 出資比率は、小数点第3位を四捨五入により表示しています。

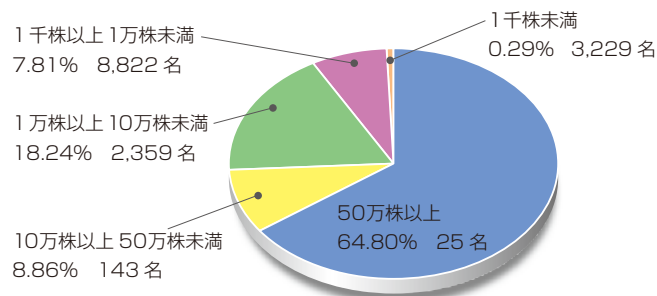
株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
配当金受領株主確定日	3月31日
単元株式数	1,000株
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-7111 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部
公告の方法	電子公告により行う。
公告掲載URL	http://www.teac.co.jp/about/jp/koukoku.html (ただし、やむを得ない事由により、電子公告による ことができない場合は、日本経済新聞に公告します。)

株式所有者別状況



株式所有数別状況



【株式事務に関するご案内】

1. 各種お手続きのお問合せ窓口について

株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。

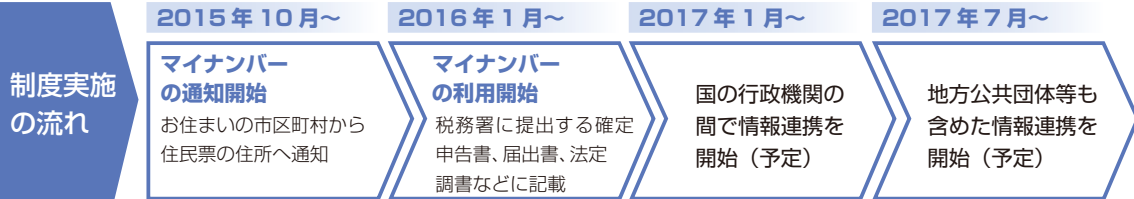
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きについて

特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。

株式に関する『マイナンバー制度』のご案内

マイナンバー制度(*)とは、国民一人ひとりにマイナンバーを配布し、その番号によって複数の行政機関に存在する個人の情報を正確に連携させるための新しい社会基盤です。

(*) 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律（平成 25 年 5 月 31 日法律第 27 号）



市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係のお手続きが必要となります。
株主様は、お取引の証券会社等へマイナンバーをお届ください。

【株式関係業務におけるマイナンバーの利用】

法令に定められたとおり、支払調書には株主様のマイナンバーを記載し、税務署へ提出いたします。

【主な支払調書】 配当金に関する支払調書、単元未満株式の買取請求など株式の譲渡取引に関する支払調書

【マイナンバーのお届出に関するお問合せ先】

- 証券会社等の口座でご所有の株主様
お取引のある証券会社等にお問合せください。
- 「特別口座」でご所有の株主様（証券会社等にお取引口座がない株主様）
特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部（TEL 0120-232-711 <通話料無料>）にお問合せください。

- 仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。
- 製品の色は、撮影や印刷の関係で実際の色と異なって見えることがあります。
- 記載されている会社名、製品名、ロゴマークは各社の商標または登録商標です。

ティアック株式会社

〒206-8530 東京都多摩市落合一丁目47番地

TEL 042-356-9100（代表）

ホームページアドレス <http://www.teac.co.jp/>

